

新居浜市男女共同参画に関する市民意識調査

調査へのご協力のお願い

市民の皆様には、日頃より市政各般にわたりご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

新居浜市では、平成23年3月に『第2次新居浜市男女共同参画計画～ともにいきいき新居浜プラン21～』を策定し、男女共同参画社会の実現に向けて様々な取組を進めてきました。令和2年度に目標年次を迎えるため、社会情勢に応じた、よりニーズや実態に則した『第3次新居浜市男女共同参画計画』の策定を予定しています。

今回のアンケート調査は広く市民の皆様の見解をお聞きするために実施します。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

- ◆お答えいただいた内容は、行政上の基礎資料として活用することを目的としておりますので、他の目的に利用することはありません。
- ◆市内にお住まいの20歳以上の方から1,000人を無作為に選ばせていただきました。
- ◆調査の結果は、統計的に処理し公表いたしますが、お答えいただいた方の個々のお答えの内容や皆様の個人情報公表されることはありません。

令和元年11月

新居浜市長 石川 勝行

ご記入にあたってのお願い

- 1 必ずあて名のご本人がお答えください。
- 2 ご記入は、黒のボールペン、または濃い鉛筆でお願いします。
- 3 お答えは、当てはまる番号を枠内にお書きください。1つだけ回答するものと複数回答するものがありますので、説明に従って回答してください。
- 4 お答えが「その他」の場合は、() 内にその内容を具体的に記入してください。
- 5 ご記入いただきました調査票は、無記名のまま同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、11月29日（金）までにご返送ください。

本調査についてのお問い合わせ

新居浜市役所 市民部 男女共同参画課

〒792-8585 新居浜市一宮町一丁目5番1号

電話：(0897) 65-1233 (直通) FAX：(0897) 65-1561

E-Mail：danjo@city.niihama.lg.jp

< 調査票 >

あなた自身について

【問1】 あなたの性別をお答えください。当てはまる番号を枠の中に記入してください。

1. 女性 2. 男性

【問2】 あなたの年齢をお答えください。当てはまる番号を枠の中に記入してください。

1. 20～29歳 3. 40～49歳 5. 60～69歳
2. 30～39歳 4. 50～59歳 6. 70歳以上

【問3】 あなたの職業をお答えください。当てはまる番号を枠の中に記入してください。

1. 自営業・家業・自由業
2. 会社員・団体職員（常勤）
3. パートタイマー・アルバイト
4. 専業主婦・専業主夫
5. 学生
6. 無職
7. その他（ ）

【問4】 あなたは結婚されていますか。当てはまる番号を枠の中に記入してください。

1. 未婚
2. 既婚（現在、配偶者がいる・パートナーと同居（事実婚を含む））→〔問5〕へ
3. 既婚（現在、配偶者がいない・・・離婚、死別を含む）

【問5】 【問4】で、「2. 既婚（現在、配偶者がいる・パートナーと同居）」とお答えされた方にお聞きします。あなたとあなたの配偶者またはパートナーは仕事をしていますか。当てはまる番号を枠の中に記入してください。

1. 共に仕事をしている
2. 夫（男性）だけ仕事をしている
3. 妻（女性）だけ仕事をしている
4. 共に無職

【問6】 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。当てはまる番号を枠の中に記入してください。

1. 未就学児がいる	5. 高校卒業以上の未婚の子がいる	
2. 小学生がいる	6. 学生で結婚した子がいる	
3. 中学生がいる	7. 結婚した子がいる	
4. 高校生がいる	8. その他 ()	
9. いない		

【問7】 あなたの住んでいる地区はどちらですか。当てはまる番号を枠の中に記入してください。

1. 宮西	4. 金栄	7. 高津	10. 神郷	13. 泉川	16. 中萩	
2. 新居浜	5. 惣開	8. 浮島	11. 多喜浜	14. 船木	17. 大生院	
3. 金子	6. 若宮	9. 垣生	12. 大島	15. 角野	18. 別子山	

結婚観について

【問8】 あなたは結婚についてどう思いますか。あなたの考えをお聞きます。それぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。

	そう思う	そう思う	どちらかといえば	どちらかといえば	そう思わない	わからない
a. 結婚することは自然で幸せである	1	2	3	4	5	
b. 経済的に、結婚したほうが安定した生活ができる	1	2	3	4	5	
c. 結婚は個人の自由であるから、してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5	
d. 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5	
e. 結婚しなくても、子どもは欲しい	1	2	3	4	5	
f. 結婚していても相手に満足できないときは離婚してもよい	1	2	3	4	5	
g. 子どもを育てるのが大変だ	1	2	3	4	5	
h. 子どもを育てるのが楽しみだ	1	2	3	4	5	
i. 自分に合った相手にめぐり会うことが難しい時代である	1	2	3	4	5	
j. 異性と知り合うゆとりや機会が少ない社会環境である	1	2	3	4	5	

「男女共同参画社会」について

【問9】 あなたは「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。当てはまる番号を枠の中に記入してください。

<p>1. 知っている</p> <p>2. 聞いたことはあるが、意味はよくわからない</p> <p>3. 知らない</p>	→	
---	---	--

【問10】 あなたは次にあげる分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。

	男性の方が非常に 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が優遇 されている	平等	どちらかといえば 女性の方が優遇 されている	女性の方が非常に 優遇されている	わからない
a. 家庭生活	1	2	3	4	5	6
b. 職場	1	2	3	4	5	6
c. 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
d. 政治の場	1	2	3	4	5	6
e. 自治会等の地域活動の場	1	2	3	4	5	6
f. 社会通念、慣習、しきたりなど	1	2	3	4	5	6
g. 法律や制度	1	2	3	4	5	6
h. 社会全体	1	2	3	4	5	6

男女の生き方や家庭生活、子どもなどに関する考え、意識について

【問11】 男女の生き方や家庭生活などに関する考え方について、あなたの考えをお聞きします。それぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
a. 「男（女）だから」という決めつけは、その人の可能性を閉じこめてしまう	1	2	3	4	5
b. 社会の意識やそれに基づく制度・慣行によって、男女が仕事や生き方について多様な選択ができていない	1	2	3	4	5
c. 男女ともに仕事や生き方について多様な選択ができるようにすべきである	1	2	3	4	5
d. 私は「男性は仕事、女性は家庭」という考え方である	1	2	3	4	5
e. 男性も家事・育児に積極的に参加すべきである	1	2	3	4	5
f. 男性は、一家の中心として家族を一つにまとめ、指導力を発揮すべきである	1	2	3	4	5
g. 女性は、結婚したら自分自身よりも夫や子どもなど家族を中心に考えて生活すべきである	1	2	3	4	5
h. 女性は、仕事をもって家事・育児もきちんとすべきである	1	2	3	4	5
i. 女性（妻）が仕事をもって、男性（夫）が家事・育児に専念するという選択肢があってもよい	1	2	3	4	5

【問12】 あなたのご家庭では現在、男性・女性の役割分担はどうしていますか。〔a. 家事〕、〔b. 育児〕、〔c. 介護〕について、当てはまる番号をそれぞれ1つだけ枠の中に記入してください。

※女性だけ、又は男性だけの家庭の方は記入不要です。

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 男女が平等に分担する | 4. 男性だけがする |
| 2. 主に男性が分担する | 5. 女性だけがする |
| 3. 主に女性が分担する | |

a. 家事 →

b. 育児 →

c. 介護 →

【問13】 あなたがもし高齢などの理由で、自分で身の回りのことができなくなったときは、だれに介護してもらいたいですか。当てはまる番号を1つだけ枠の中に記入してください。

1. 配偶者	5. 子の夫	→ <input type="text"/>
2. 子（男）	6. 親類	
3. 子（女）	7. 介護施設	
4. 子の妻	8. その他（	
	）	

【問 14】 あなたのお子さんには、もしくはあなたにお子さんがいたとすれば、どのような学校教育を受けさせたいですか。当てはまる番号をそれぞれ1つだけ枠の中に記入してください。

- 1. 義務教育
- 2. 高等学校
- 3. 短期大学、または専門学校（文系）
- 4. 短期大学、または専門学校（理系）
- 5. 大学（文系）
- 6. 大学（理系）
- 7. 大学院

◆女の子さんの場合

◆男のお子さんの場合

仕事について

【問 15】 職業に就いている方、また過去に就いていた方にお聞きします。あなたの職場では仕事の内容や待遇面で、女性に対して、次のようなことがありますか（ありましたか）。当てはまる番号をいくつでも枠の中に記入してください。

- 1. 賃金に男女差がある
- 2. 男性に比べて女性の採用が少ない
- 3. 昇進、昇給に男女差がある
- 4. 能力を正當に評価されない
- 5. 補助的な仕事しか任されない
- 6. 配置場所が限られている
- 7. 企画会議などの意思決定の場に女性が参加できない
- 8. 女性を管理職に登用しない
- 9. 有給休暇や育児・介護休暇が取得しにくい
- 10. 短時間勤務が認められない
- 11. 結婚や出産で退職しなければならない雰囲気がある
- 12. 中高年以上の女性に退職を勧奨するような雰囲気がある
- 13. 教育・研修を受ける機会が少ない
- 14. 特になし
- 15. その他（ ）

【問 16】 職業に就いている方にお聞きします。あなたは、責任ある役職に就きたいですか。当てはまる番号を枠の中に記入してください。

1. 就きたい 2. 就きたくない

【問 17】 【問 3】 で、「4. 専業主婦・専業主夫」、「6. 無職」とお答えされた方にお聞きします。以前、仕事をしていたことがありますか。当てはまる番号を枠の中に記入してください。

1. ある →【問 18】へ
2. ない

【問 18】 【問 17】で、「1. ある」とお答えされた方にお聞きします。仕事をやめた理由は何ですか。次の中から、最も近い番号を1つだけ枠の中に記入してください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 結婚退職、出産退職の慣習のため | 6. 職場環境・給与・待遇が悪いため |
| 2. 結婚、出産、育児のため | 7. 倒産、人員整理のため |
| 3. 家族の介護のため | 8. 健康上の理由のため |
| 4. 配偶者の転勤のため | 9. 定年退職 |
| 5. 家族の希望 | 10. その他 () |

→

【問 19】 【問 3】で、「4. 専業主婦・専業主夫」、「6. 無職」とお答えされた方にお聞きします。今、仕事をしていない理由は何ですか。次の中から、最も近い番号を1つだけ枠の中に記入してください。

- | |
|-----------------------|
| 1. 希望する内容の仕事が見つからないため |
| 2. 希望する待遇の職場が見つからないため |
| 3. 家族の介護のため |
| 4. 子育てのため |
| 5. 高齢・病弱のため |
| 6. 経済的に問題なく生活できているため |
| 7. 知識・資格の取得のため |
| 8. 自由に、快適に生きるため |
| 9. 職場で働く自信がないため |
| 10. その他 () |

→

【問 20】 【問 3】で、「4. 専業主婦・専業主夫」、「6. 無職」とお答えされた方で、今後就職を希望している方にお聞きします。就職を希望する理由は何ですか。次の中から、近い番号を2つまで枠の中に記入してください。

- | |
|------------------------------|
| 1. 生計を維持するため |
| 2. 生計にゆとりをもたせるため |
| 3. 自分の能力を生かすため |
| 4. 生きがいを求めるため |
| 5. 経済的に自立するため |
| 6. 将来に備えて貯蓄するため |
| 7. 自分が自由にできるお金を持つため |
| 8. 職業に就くことは当然のことだから |
| 9. 職業活動を通して、社会とつながりをもっていたいため |
| 10. 家庭に閉じこもってたくないため |
| 11. 社会的な経験を積んで、視野を広げたいため |
| 12. その他 () |

→

【問 21】　　ここ 5 年間に職場や日常生活において、不愉快な経験（ハラスメント）がありましたか。当てはまる番号をいくつかでも枠の中に記入してください。

1. 「女（男）のくせに」「女（男）だから」と差別的な言い方をされた
2. 異性に身体をさわられた
3. 交際を強要された
4. 結婚や異性との交流についてしつこく聞かれた
5. 人前で人格、能力を否定する言葉で傷つくことを言われたり責められた
6. あいさつをしても無視するなど不快な態度をとられた
7. 困難な仕事を与えて低評価にしたり、逆に能力や経験より程度の低い仕事しかさせてもらえなかった
8. 退職を促された
9. 特になし
10. その他（ ）



防災について

【問 22】　　防災（災害復興も含む）活動に関して男女共同参画を推進していくためには、どのようなことが必要と考えますか。当てはまる番号をいくつかでも枠の中に記入してください。

1. 自治会等の役員、自主防災組織者に女性が増えること
2. 女性消防職員や女性消防団員の育成、役員への女性の登用
3. 防災会議に男女がともに参画し、防災計画に男女両方の視点が入ること
4. 防災訓練や防災研修会へ男女がともに積極的な参加に努めること
5. 避難所の設備等に男女別のニーズに配慮した視点が入ること
6. 避難所運営の責任者に男女がともに配置され、男女両方の視点が入ること
7. 災害対策本部に男女がともに参画し、対策に男女両方の視点が入ること
8. 災害復旧・復興対策計画に男女がともに参画し、計画に男女両方の視点が入ること
9. 被災者の相談を受ける体制として、男女がともに参加すること
10. その他（ ）



社会活動について

【問 23】 あなたは社会活動に参加していますか。当てはまる番号を枠の中に記入してください。

1. 参加している → 【問 24】へ 2. 参加していない → 【問 25】へ

【問 24】 【問 23】で、「1. 参加している」とお答えされた方にお聞きします。あなたはどんな社会活動に参加していますか。当てはまる番号をいくつでも枠の中に記入してください。

1. 趣味・学習・スポーツ活動
2. 自治会・PTA等の活動
3. リサイクル・消費生活活動
4. 国際交流活動
5. ボランティア・福祉活動
6. 環境・まちづくりなどの活動
7. 防災・防犯などの活動
8. その他 ()

【問 25】 【問 23】で、「2. 参加していない」とお答えされた方にお聞きします。社会活動に参加しない理由は何ですか。次の中から、最も近い番号を1つだけ枠の中に記入してください。

1. 仕事が忙しい
2. 家事・育児・介護で忙しい
3. 地域活動に関心がない
4. 地域の人と特に親しくなりたいと思わない
5. きっかけがない
6. 情報がない
7. その他 ()

【問 26】 あなたは社会活動に参加する場合、役職等に就きたいですか。当てはまる番号を枠の中に記入してください。

1. 就きたい 2. 就きたくない

市政運営について

【問 27】 あなたは市政運営等において、女性の意見や考え方が反映されていると思いますか。当てはまる番号を枠の中に記入してください。

1. 十分に反映されている 4. ほとんど反映されていない → 【問 28】へ
2. ある程度反映されている 5. どちらともいえない
3. あまり反映されていない → 【問 28】へ

【問 28】 【問 27】で、「3. あまり」、「4. ほとんど」とお答えされた方にお聞きします。どのような理由で選ばれましたか。次の中から、最も近い番号を枠の中に記入してください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 女性議員が少ない | 6. 男性の意識、理解が足りない |
| 2. 女性の管理職が少ない | 7. 社会のしくみが女性に不利 |
| 3. 審議会や委員会に女性が少ない | 8. 女性の能力に対する偏見がある |
| 4. 自治会や各種団体の長に女性が少ない | 9. その他 |
| 5. 女性自身の意欲や責任感が乏しい | () |

→

【問 29】 あなたは、市の方針決定の場である審議会・委員会等に、女性が参画する割合（参画率）の目標を何%にすることが望ましいと思いますか。（平成31年4月1日現在29.7%）当てはまる番号を枠の中に記入してください。（)

- | | |
|--------|------------|
| 1. 50% | 4. 20%以下 |
| 2. 40% | 5. その他 () |
| 3. 30% | |

→

【問 30】 【問 29】についてどのような理由で選ばれましたか。当てはまる番号を枠の中に記入してください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 女性の意見を市政にどんどん反映するべきだ |
| 2. 参画していくべきだとは思いますが、現実的にはむずかしいと思う |
| 3. 家事などが忙しく参画する余裕がない |
| 4. 参画できる人材が少ない |
| 5. 人口の比率でいけば女性のほうが多いから |
| 6. その他 () |

→

【問 31】 あなたは女性の社会参画に必要なことは、何だと思えますか。次の中で、あなたの思いに近い番号を3つまで枠の中に記入してください。

- | |
|--|
| 1. 男女の固定的な役割についての社会通念、慣習、しきたりをなくす |
| 2. 法律、制度を見直して、性差別につながるものを改める |
| 3. 男性も女性もお互いパートナーとして理解し協力する |
| 4. 男性も女性も対等に仕事と家庭の両立ができるようなサービスの充実を図る |
| 5. 男性も女性も経済力を高めるため、知識や技術の習得など積極的に力の向上を図る |
| 6. 就労の場において、性別による待遇の差がないようにする |
| 7. 行政や企業において、政策等を決定する場に、一定の割合で女性を登用する制度を採用する |
| 8. 子どものときから家庭や学校において、男女平等について教える |
| 9. その他 () |

→

ドメスティック・バイオレンス（DV）について

※「ドメスティック・バイオレンス（DV）」とは、夫婦（別居、離婚後も含む）や恋人といった親しい関係で生じる暴力のことをいいます。

【問 32】 あなたはこれまでに配偶者（事実婚や別居、離別を含む）や恋人（元恋人を含む）などのパートナーから、次の a. ～ f. のような経験がありますか。それぞれ 1 つ選んで番号に○をつけてください。

	あ っ た 何 度 も	あ っ た 1、 2 度	な い ま っ た く	い な い 恋 人 は 配 偶 者 や
a. 命の危険を感じるくらいの身体的暴力を受けた	1	2	3	4
b. 医師の治療が必要となる身体的暴力を受けた	1	2	3	4
c. 医師の治療が必要ではない程度の身体的暴力を受けた	1	2	3	4
d. 精神的暴力（おどす、無視する、人格を否定するような言葉を使う、交友関係や電話・行動を監視するなど）を受けた	1	2	3	4
e. 性的暴力（性的行為や中絶を強要する、ポルノビデオやポルノ雑誌を無理に見せる、避妊に協力しないなど）を受けた	1	2	3	4
f. 経済的暴力（生活費を渡さない、働くことを妨害するなど）を受けた	1	2	3	4

【問 33】 へ

【問 33】 【問 32】で「何度もあった」または「1，2度あった」とお答えされた方にお聞きします。その時、あなたはどうしましたか。次の中から、当てはまる番号をいくつでも枠の中に記入してください。

- | |
|---|
| 1. 何もしなかった・できなかった
2. 言い返した・反撃した
3. なだめて止めようとした
4. その場から逃げようとした・逃げた
5. 我慢して相手に合わせた
6. 口をきかなかった
7. 食事を別にした
8. 家族に助けを求めた
9. 友人・知人などに助けを求めた
10. 警察を呼んだ
11. 離婚や別居を考えた
12. 覚えていない
13. その他（ ） |
|---|

【問 36】 あなたはワーク・ライフ・バランスを実現できていますか？当てはまる番号を枠の中に記入してください。

1. うまくできている	4. まったくできていない	→ <input type="text"/>
2. ややできている	5. わからない	
3. あまりできていない		

【問 37】 職業に就いている方にお聞きします。あなたの職場でのワーク・ライフ・バランスの取組について、あなたはどのように認識していますか。現状及び今後の必要性について、次の中から、最も近い番号を1つだけ枠の中に記入してください。

〔a. 現状〕

1. 十分取り組んでいる	4. 全く取り組んでいない	→ <input type="text"/>
2. 取り組んでいるが不十分	5. 取り組む必要を感じない	
3. あまり取り組んでいない	6. わからない	

〔b. 今後の必要性〕

1. 積極的に取り組むべき	3. 現状のままで問題はない	→ <input type="text"/>
2. ある程度取り組むべき	4. 取り組む必要がない	

【問 38】 あなたがワーク・ライフ・バランスを推進していくことで、プラス効果であると思うものについてお聞きします。次の中から、当てはまる番号をいくつでも枠の中に記入してください。

1. 家事・育児・介護など家庭での役割を男性も担いやすくなり、女性の負担が少なくなる	→ <table border="1"><tr><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td></tr><tr><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td></tr><tr><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td></tr><tr><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td></tr></table>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>										
<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>										
<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>										
<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>										
2. 女性の継続就業や希望する職業への再就職が容易になる													
3. 自己啓発や趣味の時間が増え、能力も高めたり、満足感を得たりすることができる													
4. 働く人々が地域活動にかかわることができるようになり、地域の活性化等につながる													
5. 長時間労働が減り、心身の健康に良い影響を及ぼす													
6. 人口の減少が進行する中、女性や高齢者など多様な人材が活用できるようになり、労働力不足の解消につながる													
7. 一人ひとりの仕事への満足度が向上し、能力が十分に発揮され、効率的な働き方ができるようになる													
8. 仕事を持つ男女が、子どもとかかわる時間が増え、安心して子どもを産み育てることができる													
9. 労働時間や働き方の柔軟性などの仕事と家庭の両立環境や、子育て環境が整い、少子化の進行を防ぐことができる													
10. 企業が個々の様々なニーズ（希望や必要性）に対応した就業環境を提供することで、従業員の意欲や満足度が高まり、優秀な人材を確保・定着させることができる													
11. わからない													
12. その他 ()													

